

今回は、「個人懇談」の内容を行いました。

☆個人懇談について☆

川井先生がメンターとなり、これまで経験されてきたことをもとに保護者の方との個人懇談の仕方についてお話しいただきました。

心がけておくことや準備など個人懇談に向けてのお話を聞くだけでなく、メンティーからも聞いておきたいことなどを出し合いながら進めていきました。

設定をした時間を守ろう。

保護者の方の貴重な時間を大事に、後の方のことも考えて話をしましょう。時間を守るためには、簡潔に内容をまとめておくことが大切です。

笑顔で、保護者の方を迎えよう。

保護者の方も、緊張されているかもしれません。明るく笑顔で迎えましょう。



子ども達の成長(伸び)と頑張りを具体的に伝えよう。

テストの結果(数値)だけでなく、ノートや成果物等の具体物を見せながらお話すると子どもの伸びがよく伝わりますね。

保護者目線で、話をしよう。

気負わず、保護者の方としっかり向き合いながらお話ができるといいですね。

子どもの課題については、これまでの取組と合わせて改善策を伝えよう。

自分の指導を振り返り、子ども達の課題克服のための手立てがあると、保護者の方も安心しますね。

個人懇談について、たくさんのポイントを教えていただきました。

簡潔に内容をまとめて伝えるために、児童の伝えたい内容を学習と生活に分けて準備しておく。そのためには、日々の児童の様子を記録しておくことやよいことも教えていただきました。個別のファイルを作成し、メモをしっかりとっておくことで、個人懇談に生かすことができます。

教室の机・椅子の配置等も確認し、向き合うよりも少し、ハの字型にすると話しやすいのではないかと話題になりました。また、時間が守れるように机の上に時計やタイマーを置いたり、時計が見える位置に机を配置することも確認することができました。

個人懇談に向けてたくさんの学びがありました。

メンターとなってくださった川井先生、ありがとうございました。

(個人懇談を終えての感想)

- 机の配置を変えることで緊張せずに、資料をうまく見せながら話すことができた。
- 児童のできていないことを言うのではなく、前向きな言い方で課題を伝えることができた。
- 時間を意識し、懇談を行うことができた。
- 児童について誉めることを多く伝えることで、保護者の方も笑顔になってお話ができた。